

道路行政における デジタル技術の活用

川崎市建設緑政局企画課



渋滞の解消

交通事故の削減

業務の効率化

対象地

建設緑政局企画課



川崎市全域の
市管理道路

川崎市管理道路の概要

建設緑政局企画課

国道 約 17.8km

県道 約 87.6km

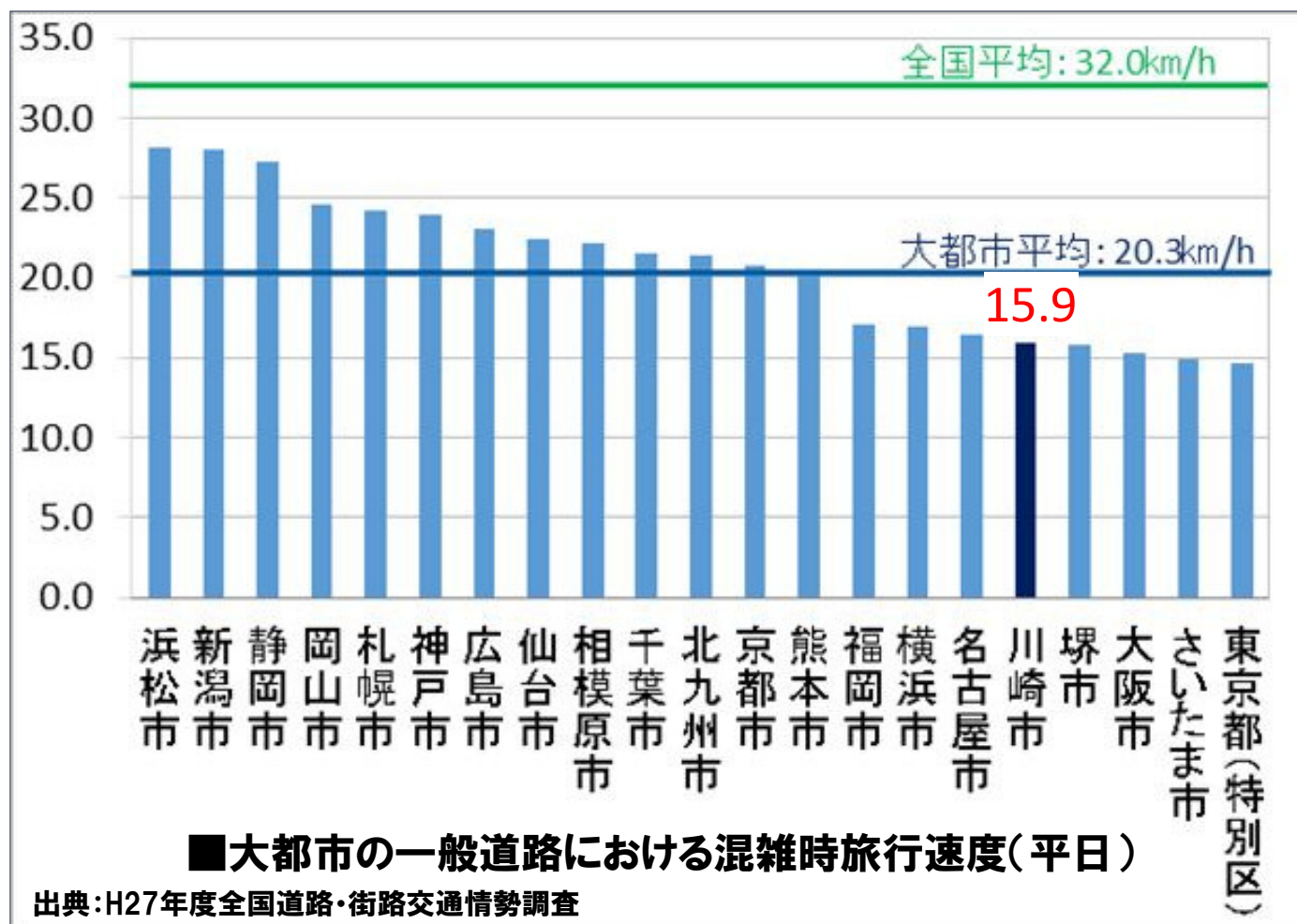
市道 約 2,408.1km

合計 約 2,513.5km

抱えている課題①

建設緑政局企画課

交通渋滞・事故



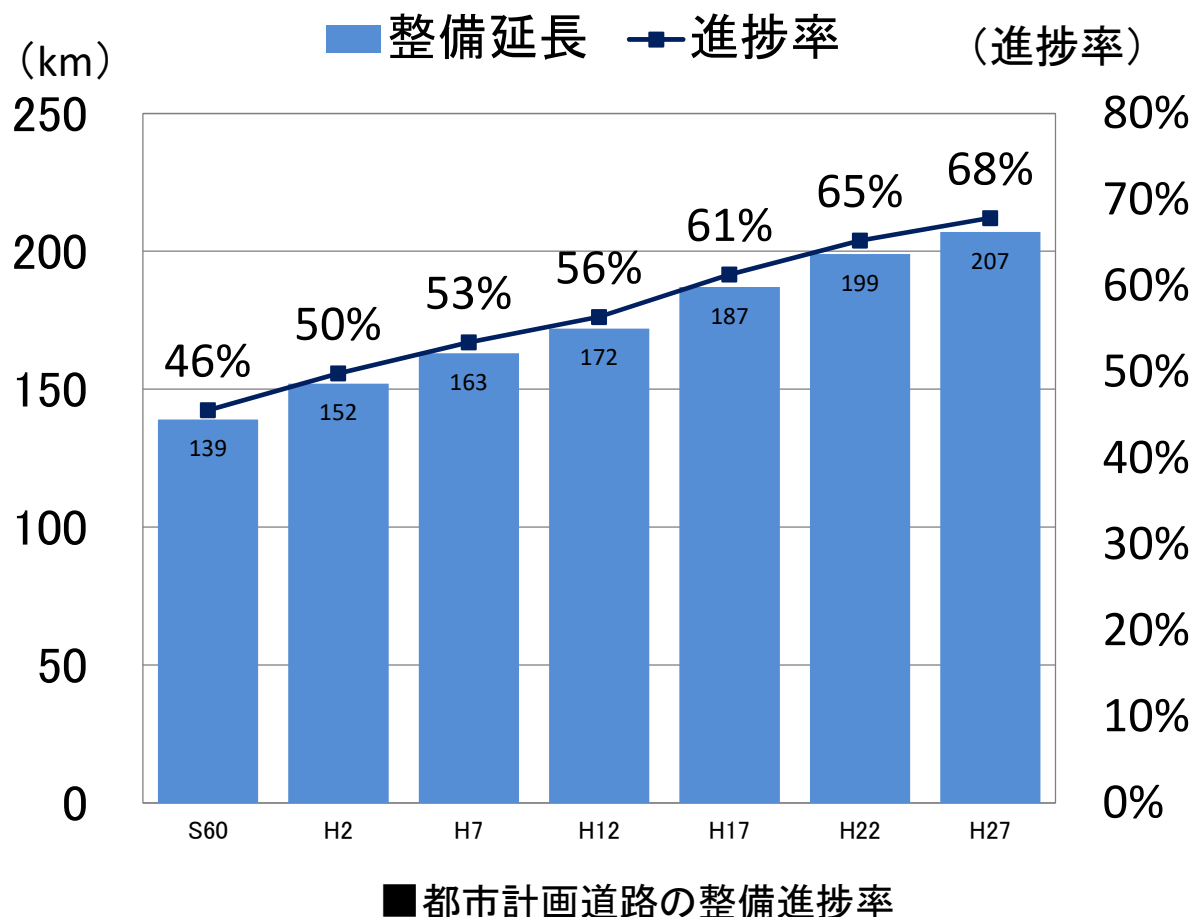
21大都市中
ワースト5位

⇒従来の取組に加え、新たな改善手法も検討が必要

抱えている課題②

建設緑政局企画課

道路整備の進捗



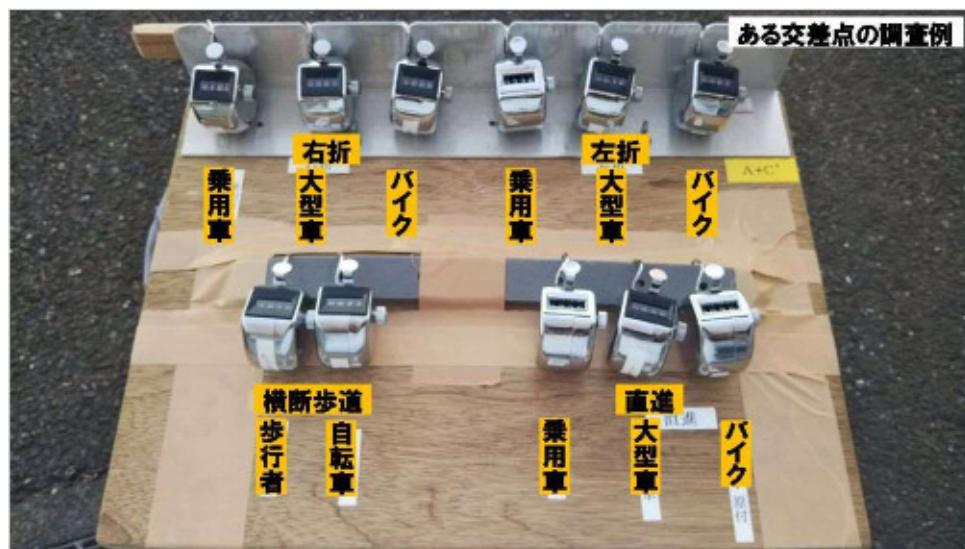
**5年間で
3~5%
概ね10km**

⇒優先度の精査
⇒道路整備への理解を
広げることが必要

抱えている課題③

建設緑政局企画課

調査手法（平休日各1日12h）

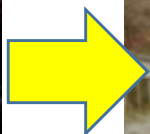


道路交通センサス
5年に1回
市内128箇所

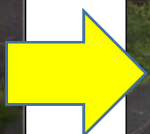
⇒より低コストで高精度に
調査できる手法が必要

これまでの市の取組

建設緑政局企画課



計画的な 道路整備



局所的な 渋滞対策



NAVITIME

【令和元年11月26日協定締結】

データ活用

⇒新たな取組

デジタル技術の活用の考え方

**原因や効果を可視化
より根拠の高い施策を推進**

市民の道路行政への理解が深まる

対策が進む

暮らしやすいまちへ

つかわれるものを共に創る

市民への価値を最大化

社会課題を解決

誰も気付いていない解決手法を
官民が連携して創る

活用に当たっての条件など

建設緑政局企画課

◇市の基本的な考え方

安全で快適な道路環境を提供

ビッグデータ、AI等の活用を推進

実証実験で効果・課題を把握しながら
一緒に手法を磨く（企画～運用まで伴走）

◇市の財政負担の条件

実証実験：機器設置等に伴う占用料は協議
市の財政負担を伴う場合は公募

今後、ご意見・ご提案をお聴きしたい事項①

建設緑政局企画課

渋滞の解消・業務の効率化



スマホナビへの
プッシュ通知等

道路交通状況（車・人）

カメラ

ナビアプリ等

交通量、速度計測
（車両、歩行者）

※センサス、道路計画等で活用

リアルタイムな交通予測・誘導

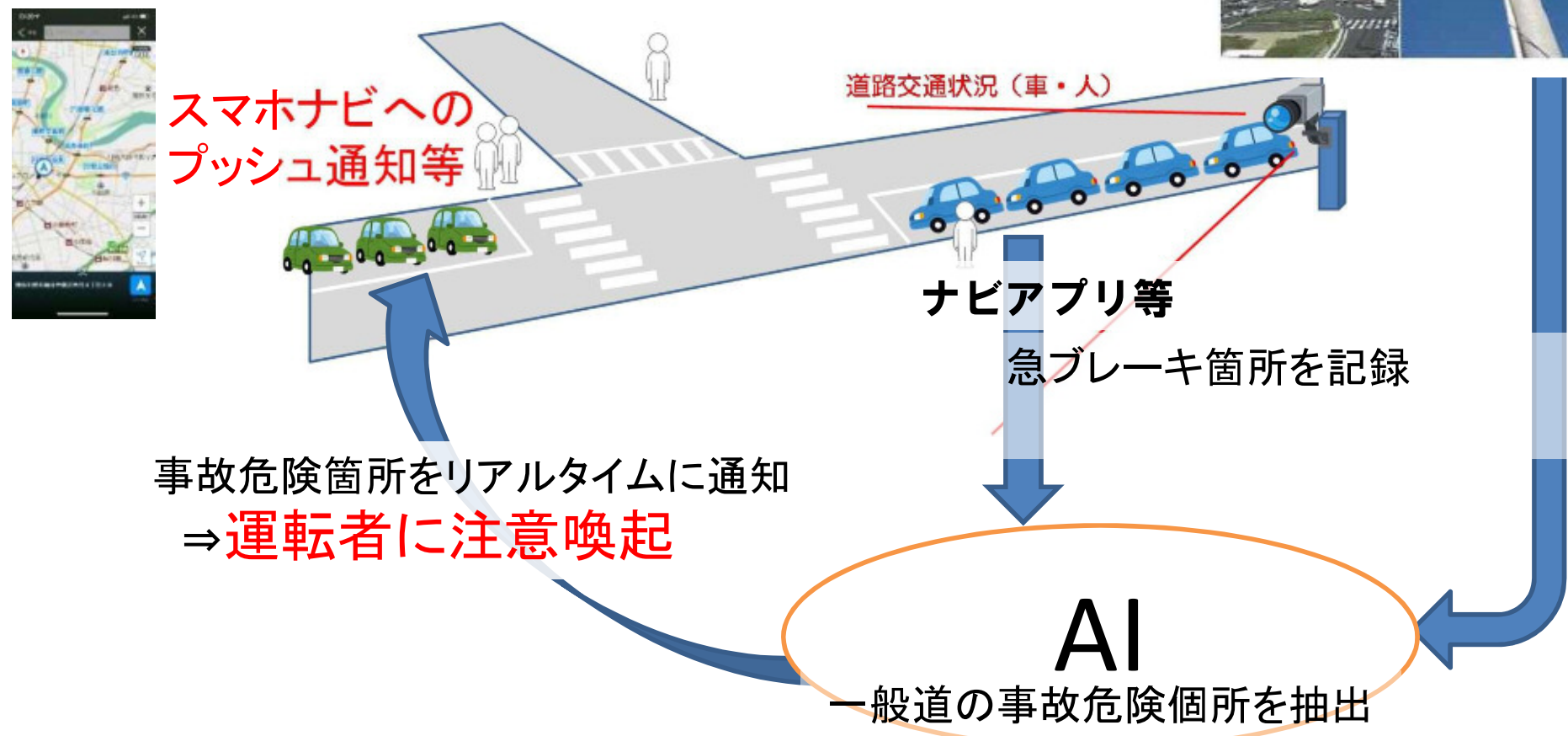
⇒ 道路網を賢く活用して渋滞を予防

AI

一般道の渋滞予測

実証実験の可能性、スキーム、条件、役割

交通事故の削減



実証実験の可能性、スキーム、条件、役割

道路行政におけるデジタル技術の活用

今後、ご意見・ご提案をお聴きしたい事項

建設緑政局企画課

- ◇交通ビッグデータとAIを活用した一般道路の渋滞予測
 - ◇予測結果を活用した最適な経路誘導
 - ◇画像解析による交通量調査の効率化
 - ◇急ブレーキ箇所と人流の解析による交通安全対策
 - ◇渋滞要因・優先度をビッグデータから推定する仕組みの構築など
- ⇒行政(市民)のニーズと民間の技術・サービスをマッチングして、本市をフィールドとした実証実験で改良を重ねながら、一緒に社会課題の解決手法を創るパートナーを探しています

建設緑政局総務部企画課 担当 藤島、江頭
E-mail : 53kikaku@city.kawasaki.jp
TEL:044-200-2781